

蕪工 ニュース

県立蕪崎工業高等学校 企画・広報部
第60号 2009.11.05

第47回蕪工祭開催・資格取得に挑む
レスリング部国体優勝・保育体験実習
機械工作部燃費競技会出場
やまなし県民文化祭優秀賞

第47回蕪工祭開催

第47回蕪工祭が「限界突破」をテーマに10月9～10日の両日で行われる予定でしたが、台風18号の影響で10日のみとなった。1日限りでしたが、クラス展示・いかだ流し・ピタゴラスイッチ・工業科ものづくり教室・各文化部の発表・模擬店等、内容は盛り沢山だった。恒例となった100回目のいかだ流しは、世相を反映した政権交代の象徴である「国会議事堂」



や本校OBのレスリング世界3位米満先輩の「オリンピック出場祈願」などで、流れに任せた2分ほどのパフォーマンスを繰り広げた。体育館や中庭でのイベントでは、非日常的な出し物で多くの人から声援を浴びていた。短縮された中で

120%燃焼の学園祭だった。



米満先輩母校で世界大会入賞報告会

9月21日からデンマークのヘルニングで行われた2009年世界レスリング選手権大会で日本男子フリースタイルチーム唯一の銅メダルを獲得した米満達弘先輩(平成16年度卒)が学園祭初日に凱旋し全校生徒520人の前で入賞を報告した。北原生徒会長から花束を受け取ると「この蕪崎工業高校でよい仲間に出会えたことが



今回のメダルにつながった。2012年のロンドンオリンピックでは必ず金メダルを取ります。」と後輩達の前で力強く誓いました。

おめでとう石原君国体優勝

9月27日から新潟県で行われた国民体育大会でグレコローマン55kg級に出場した3年の石原拓朗が見事に優勝を飾りました。石原は、夏の全国大会決勝で第1ピリオドを先制しながら第2・3ピリオドを逆転で落とし、優勝まであと一步と悔しい思いをしました。雪辱を誓い臨んだ今回の国体での決勝は、夏と同じ相手に第1ピリオド第2ピリオドとストレートで連取し見事な勝ちぶりでした。大学進学後も努力を重ね、米満先輩に続いて欲しいと思います。



(資料提供: 報知新聞社)

夢はジュニアマイスター・電気系清水さん

蕪崎東中学校出身2年生の清水悠里さんは、弓道部に所属して部活動の隙間を見て資格取得に励んでいる。いやその逆かな？そんな前向きな姿が、報知新聞で「ハイスクール甲斐のヒロイン」として取り上げられた。取材中も記者の質問に快活に答え、目標に向かって努力し、将来の夢の実現のために準備をしていることを話した。全国の工業高校校長会では各種の資格・検定取得に対してポイントを加算して規定の得点に達すると「ジュニアマイスター」の表彰がある。決して簡単な表彰ではないことは覚悟のうえで、この表彰を目指し毎日受験勉強に打ち込んでいる。卒業時に是非「ジュニアマイスター」を取得して欲しいものである。頑張れ蕪工のヒロイン。



保育体験実習始まる

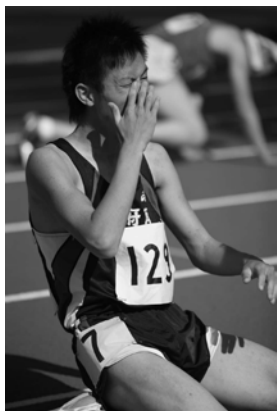
10月20日から11月2日

にかけて、1年生活技術の

授業の一環として蕪崎市愛生幼稚園との保育体験実習をした全クラス対象に年少（花組）、年中（星組）、年長（月組）の園児が来校し、ペアになってダンスを踊ったり、園児の演技や歌を見学したり、生徒による紙芝居の読み聞かせなどをした。

その後、校舎内を見学した。直接、触れ合う体験を通じ、将来、親となるための子供をいとおしく思う気持ちや年少者をいたわる気持ちを養う貴重な機会となった。わずか2時間余りの交流でしたが、生徒にとっても有意義な体験となった。

10月10日・11日の2日間、エコカー部と課題研究が作製した車両で、栃木県の「ツインリンクもてぎ」というサーキットを走ってきました。今年から空気抵抗を減らすために、2台とも全てのタイヤを車体で覆うタイプに作り直しましたが、車両の完成度が高くノートラブルで2台とも完走しました。エコカー部は昨年の記録を132km更新して1183km/l（県内記録更新）、課題研究は5年目にして初めて完走し、記録も昨年の約1.8倍の445km/lに伸び、健闘しました。



やまなし県民文化祭で優秀賞受賞

この作品は春の高校総体県予選で撮影した写真です。陸上競技で負けてしまった選手が、思わず涙を流してしまった瞬間をとらえた作品です。背景に倒れ込んでいる選手もアクセントになっていて、陸上競技の激しさを伝えた写真に仕上がっています。

山梨 報知
10月19日 月火木日掲載 yamanashi@bouchi.co.jp 平野 報知新聞社 地方部までご連絡ください

ジュニアマイスターの国家資格を目指し資格取得を目指す清水さん

資格すでに2ヶタ...目標はジュニアマイスター

ハイスクール 甲斐のヒロイン

非職工 清水 悠理

電気科・2年
電気工事士2級、簿記簿物取扱主任者、建築図面検定2級...女子学生にして10を超える資格を持つ「資格マニア」だ。

「非職工に入社したのは、母・住居代さんが働く病院での職場体験がきっかけだった。「いつものお母さんと違って、生き生きしていて大好きだった。早く仕事をしたいと思った」と仕事に挑戦する工業高校を選んだ。

清水には「ジュニアマイスターで全国表彰されたい」という目標がある。工業高校では、各種の国家資格や検定を取得した高校生を表彰する「ジュニアマイスター」選考制度がある。その中でも全国表彰されるのは毎年10人前後とハードルは高い。

「毎日受験勉強してると、結構」と清水は笑うが、その勉強量は凄まじい。平日は放課後4時間、休日には朝から晩まで長時間

先生の指導の下、練習問題を解くのが好きで、強が切り替えられないときもある」というが、「目指すためのこと」とは強辞は決して吐かない。

「目指したいことがたくさんある。母のように人のためになる仕事がしたい」。そこで10月半々リワーマンを目指し、清水は毎朝という山に挑み続ける。（井上 信太郎）

【おまけ】「あまのこ（しみず・ゆり）」1992年12月19日、山梨・韮崎市生まれ。16歳で韮崎北東北、前橋東中を経て韮崎ハイスクール電気工事士2級をはじめ11種の資格を持つ。身長160cm。血液型B型。家族は両親と弟。

【おまけ】「あまのこ（しみず・ゆり）」1993年創立された県立工業高校。電子機械科、電気科、情報技術科、環境化学科、情報工学科、システム工学科の6コースに分かれる。生徒数は522人（うち女子は38人）。校舎が活き活きとリノベ中。相模原が全国レベル。主なOBは土橋宏由樹（プロサッカー選手）、声優 八尋 裕也（プロ野球選手）。

HONDA エコノパワー大会に出場



URL <http://www.nirasakith.kai.ed.jp>
e-mail info@nirasakith.kai.ed.jp